

子育てママ目線で 声を届ける 市政を変える

あしやしみんのこえ

芦屋市議会議員

たかおか知子 市政報告

芦屋市制施行80周年のお祝いを！

芦屋市制施行80周年記念事業は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、令和2年4月1日～令和4年3月31日の期間に延長されています。芦屋市制施行80周年のお祝いをするために、市民団体や法人が行なう事業で市制施行80周年を周知し盛り上げていただける事業を募集しています。承認された事業については、事業名に「芦屋市制施行80周年記念」や「祝芦屋市制施行80周年」の冠やシンボルマークを使用できます。また、令和3年3月21日には芦屋市制施行80周年記念映画「あしやのきゅうしょく」の製作発表があり22日から市内各所で撮影が行われました。

たかおかの調査報告

- 市立小学校を視察し施設整備に関することを検証

気になるコロナ対策

- 新型コロナワクチン接種について

芦屋市わくわく情報

- 新しくなった南芦屋浜のビーチ護岸&南護岸

市政を大きくゆるがす議決

- JR芦屋駅南地区再開発事業の行方は？



子育てママ目線で
声を届ける
市政を変える

『たかおか知子ホームページは
随時更新しています!!』



たかおか知子の調査報告

〈市立小学校を視察し施設整備に関することを検証〉

市内には8校の小学校がありますが、老朽化に伴う改修や補修などは、学校によって時期や対処も様々であると感じています。子どもたちの教育現場が快適に過ごせる場所として、またいざという時に必要な避難所となる小学校は安全面や衛生面に関する箇所（トイレ/体育館/校庭など）の整備が行き届いていなければいけません。今後は市内全小学校を視察し学校整備等を比較して報告していきます。児童の目線で実際の教職員の方からお話を伺い、市の担当職員と共に優先順位を考えて参ります！

【1回目】視察日：令和3年4月5日 場所：潮見小学校



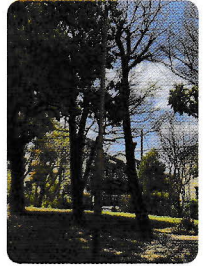
体育館の屋根は雨漏りのため継ぎ接ぎにて修復の繰り返し。



使用していない電灯が数本、撤去されずにさびついている。



木の切り株が飛び出し剪定は教職員では整備が困難。



芦屋市わくわく情報

〈新しくなった南芦屋浜のビーチ護岸&南護岸〉

兵庫県は高潮対策として新たにかさ上げ工事に踏み込み中壁の整備を行っていましたが一部供用が開始しましたのでお知らせいたします。以前と違うところは、防潮堤が二段階構造になっており、海に近い側に「中壁」住宅地に近い側に「後壁」です。景観に対して配慮されている「後壁」は、透明のアクリル板の窓が取り付けられています。今後は防犯上のため住環境を守ることを重視して夜間は門扉が閉まりますので午後8時までにビーチや護岸内からご退出をお願いします。

【夜間閉鎖】午後8時～午前6時まで（駐車場は午後7時～午前7時まで）



南芦屋浜のビーチ護岸



アクリル板設置箇所

気になるコロナ対策

〈新型コロナワクチン接種について〉

● 高齢者への接種券等の送付はじまる！

ワクチン接種には接種券が必要となりますので大切に保管してください。

送付数：約2,900通、対象：65歳以上の高齢者、（昭和32年4月1日以前に生まれた方）、送付内容：[接種券、予診票（3枚綴り）、ご案内] なお、ワクチンの数量に限られており、まずは高齢者施設の入居者、次に85歳以上の方から予約方法のご案内を送付し集団接種を受けていただけます。改めて65歳以上84歳以下の方へは、順次お知らせされる予定です。

● ワクチン接種の概要

接種順位：① 医療従事者（県が実施主体）② 高齢者（約2万9千人）③ 高齢者以外で基礎疾患を有する方、高齢者施設等で従事している方、60～64歳の方④ それ以外の方、接種対象者：16歳以上 ワクチン接種は無料！

● ワクチン接種の流れ

① 検温&消毒 ② 受付 ③ 予診票確認 ④ 予診票記入 ⑤ 相談コーナー ⑥ 予診待機 ⑦ 予診 ⑧ 接種待機（更衣室）⑨ 接種 ⑩ 接種済証発効 ⑪ 健康観察（待機）⑫ 2回目の接種予約

● 各生活圏域に1か所の開設

山手圏域：市民センター本館3階

精道圏域：保健福祉センター3階多目的ホール及び木口記念会館3階

潮見圏域：潮芦屋交流センター2階 ※他の会場での開設等についても検討を進められています。

● 芦屋市コールセンター

0797-31-0655 平日 9:00～17:30 土・日・祝 10:00～16:00（第3日曜日除く）



ホームページでもっと詳しく！



市政を大きくゆるがす議決

＜JR 芦屋駅南地区再開発事業の行方は？＞

前年度の予算が「否決」になりましたが、



ホームページで
もっと詳しく！

「私はJR芦屋駅南地区再開発事業を止めていません！」

その1、推進する主な理由 「安かろう悪かろう」に近づく事業費の削減！

当初予算から事業費が膨らんだ殆どが資材の高騰などによる時代に直面した外的要因が理由です。交通整備の課題を解決し安全な駅周辺にするという一番の目的であることが後回しになり、これ以上コスト削減し事業費を縮減するような見直しは安全面を重視されない可能性があります。

その2、推進する主な理由 10年後の基金はマイナスではない！

財政悪化や市民サービスの低下ばかりを懸念するのは目先の不安の煽りでしかありません。昨年長期財政収支見込みでは令和11年度にマイナス9億円の財政危機になり、JR芦屋駅南地区の再開発事業が財政危機をもたらすような印象をお持ちの方が多くいたのではないのでしょうか？しかし、今回の数字はプラスになっていました。前回の収支見込みと比較した説明がありましたが、今回は10年後の剰余金と基金の合計は42億4,700万円で、昨年度の収支見込みの10年後の金額▲9億2千万円と比較すると、約51億6,700万円増加していたのです。

その3、推進する主な理由 コロナ禍の影響は芦屋では異なる状況！

リーマンショックのような大幅な影響も個人所得税が中心である芦屋市では「譲渡益にかかる課税（譲渡益課税）」と「配当金等にかかる課税」では、株価の高騰にあった昨年度について損失額は少ないと予想されています。

その4、推進する主な理由 人口統計で40年後の予測値は大まか！

これは日本全体の話であり、内閣府の将来推計人口とは将来こうならないようにするためにすべての仮定に基づく推計結果を概観しています。また、人口が加速度的に減少するからといって、今より人口が減ることが問題なのではなく、財政力がその時に耐えられるほどの体力が市にあるかということが大事です。人口が減らなくても入る税金が減り、社会保障など出るお金が増えるのであれば今より市政運営は厳しくなってしまいます。

その5、推進する主な理由 再開発事業が止まり国の補助金が激減！

国の補助金は出来高清算ということなので今回の予算規模はほぼ同額ですが、国の補助金だけが7億7,800万円から5,500万円と減りました。不足分は17億6,000万円の市債で組み立てられることになります。原因は予算案を否決したことで昨年度の補助金を受け取れなかったからです。

その6、推進する主な理由 約35億円を減額した計画を示した！

過大な財政負担にならない予算の数字が本年度示され、さらに約35億円を減額した計画でした。計画の策定には新たに補正予算で8,800万の経費がかかっています。計画策定後の審議の際「再度事業手法を変更させる」という修正案の提出により計画策定に使用した経費が無駄となってしまうことを意味します。後になり計画の手法に反対し白紙を求めるならば、事業内容の見直しをするために追加した補正予算は無駄になります。

その7、推進する主な理由 「街路事業」では交通課題は解決できない！

通常なら道路を拡幅することでバスや一般車の駐車スペースを確保し歩道も整備することができるのが「街路事業」の手法ですが、平成30年に「第二種市街地再開発事業」が議会で決定されたのには理由があります。今の事業費の規模で街路事業を採択すれば、一般車両の交錯に伴う交通の課題は解決されず、現状よりもスムーズで安全な車両走行が可能にならないことが明確に示されていました。「街路事業」へ変更すると、今よりも道路を拡幅させなければいけないため事業費が膨張することは間違いありません。増額を抑えるためにコスト削減をさせた道理に合わなくなります。

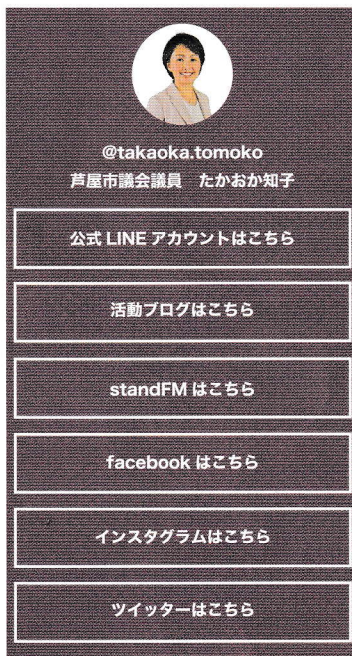
その8、推進する主な理由 他市の建設延期は事業決定前の話！

芦屋市の場合は議会の議決後に事業のストップがかかっている状態であり、これはかなり珍しいことなのです。国・県にまたがり補助金事業として予算審議も済ませ、補助金が支払われることが決まった後に市の方から補助金を不履行にして事業が白紙になった事例は聞いたことがありません。

市の情報を手軽に取得してもらいたい!

私が議員を目指した理由のひとつに行政サービスを受ける当事者である住民の皆様が置き去りにされないまちづくりを目指したいという思いがありました。そのためには、市の現状が随時正しく伝わる情報の発信先があり、課題意識に日頃から関心を持っていただける方が少しでも増えていけば、市は必ず良い方向に変わると信じています。情報社会の中多くの政治家の方もSNSを駆使して情報を発信していますが、私も気軽に伝わる手段をもっと広げていき、情報をお届けできる方法を模索してまいります。

Linktree



<https://linktr.ee/takaoka.tomoko>

『SNSで情報を発信しています!!』

SNSとは、インターネットを利用して「社会的な繋がりを構築する」システムです。交流目的以外でも情報記録を管理するツールとして有効に利用していただけて、身近でやりやすく手軽な方法で情報を共有できます!

たかおか知子が情報発信に活用しているSNSのご紹介です。複数リンクのまとめページを連携させるのに非常に便利なリンクツリー(linktree)というツールでひとまとめに☆

『文字で伝える』

Facebook・LINE・Twitter・Ameba

『写真で伝える』

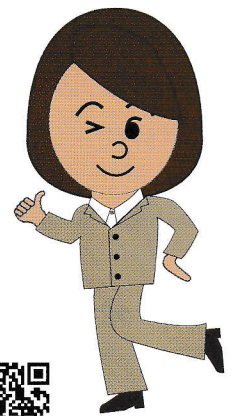
Instagram

『音声で伝える』

stand.fm・Clubhouse



etc



あしやしみんのこえ

会派室：芦屋市精進町7番6号本庁舎南館 3F

事務所：芦屋市清水町 居住地：南芦屋浜

TEL：070-4332-6414

E-mail：mail@takaoka-tomoko.me

発行：あしやしみんのこえ 発行年月2021.4 会派メンバーのご紹介

● 幹事長：長谷 基弘（民生文教委員会所属）

● 中村 亮介（総務常任委員会所属）